

@IT Architect Live 2025 秋

AIトランスフォーメーション時代に
勝ち残るための開発ツールと手法


開催日 : 2025年12月4日(木)~12月5日(金)

一次申込締切 : 2025年10月2日(木)

最終申込締切 : セッションプラン…2025年11月5日(水)

リストプラン …2025年11月27日(木)

開催概要

名称	@IT Architect Live 2025 秋 AIトランスフォーメーション時代に 勝ち残るための開発ツールと手法
開催日	2025年12月4日(木)~12月5日(金)
一次申込締切	2025年10月2日(木)
最終申込締切	セッションプラン：2025年11月5日(水) リストプラン：2025年11月27日(木)
申込者数	想定800名 ※過去開催の実績値に基づく想定値のため、 実際には開催するテーマ数などに応じて前後する場合がございます。
想定視聴者属性	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー企業/Slerの開発部門長/担当者 自社のビジネスを支えるシステム開発を担うユーザー企業の/担当者 顧客のビジネス課題を技術で解決するITアーキテクト/ITアーキテクトを目指す方 など
ご協賛プラン	プラチナプラン 380万円 全リストプラン 270万円 ほか
イベント形式	複数社協賛型デジタルイベント
主催・企画 告知・集客	
運営	アイティメディア株式会社

開催テーマ

セッション1 | AIによる開発生産性向上

キーワード：

#開発生産性向上 #AI駆動開発 #コード生成 #テスト生成 #ローコード
#DevOps #アジャイル #コラボレーション #プロジェクト管理 #内製化 #内製化支援 #CI/CD

セッション2 | DevSecOpsとセキュリティ

キーワード：

#クラウドネイティブセキュリティ #CNAPP #CSPM #CWPP
#CIEM #KSPM #コンテナセキュリティ #APIセキュリティ #アイデンティティ管理 #DevOps #シフトレフト #IDaaS #静的解析 #脆弱性管理 #SBOM #CI/CD #Observability #AI倫理とセキュリティ

セッション3 | ソフトウェア品質とAI活用

キーワード：

#AIによる品質向上 #テスト自動化 #CI/CD #品質保証 #品質管理 #静的解析 #コードレビュー #プロジェクト管理 #保守 #バグ管理 #ソースコード管理 #コラボレーション開発 #QA (Quality Assurance) #DevOps #Observability

開催中止

セッション4 | AI活用を支えるクラウド&データ基盤

キーワード：

#クラウドネイティブ #Kubernetes #マイクロサービス #IaC #APIファースト #CI/CD #クラウドネイティブデータベース #Observability #LLMOps #MLOps #DevOps #DataOps

開催中止

※一次申込締切までに十分な協賛企業が集まらなかった場合、予告なくイベントの中止やテーマの変更、規模の縮小をする可能性があります。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

過去実績



名称	開発変革セミナー2025 冬 ～スピード、コスト、品質、そして人材不足……問題山積みの開発現場を変革する道標～
開催日時	2025年3月18日（火）～3月19日（水） ※3月27日（木）までアーカイブ配信
対象	IT部門長、経営者、経営企画、社内情報システムの企画担当者、 開発・方針策定者など
主催	@IT
全申込者数	703人
視聴者数	573人
協賛 (※50音順)	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社エイチシーエル・ジャパン 株式会社NTTデータ先端技術 Tricentis Japan 合同会社 株式会社ベリサーブ 株式会社日立ソリューションズ・クリエイト

基調講演	基調講演1-1 高品質と高スピードの両立を支えるソフトウェアQA テスト自動化研究会 井芹 洋輝 氏 ※講演内容は配信当時の情報となります。（配信日：2024年11月14日）
	基調講演1-2 内製化は手段！ ～内製化の目的設定忘れてないですか？ GMOあおぞらネット銀行株式会社 執行役員 テクノロジー&プロセッシンググループ長 金子 邦彦 氏
	基調講演2 ローコードツールと課題解決型学習で実現した地域の「観光DX」 公立千歳科学技術大学 情報システム工学科/特任教授 曾我 聡起 氏 ※講演内容は配信当時の情報となります。（配信日：2024年11月13日）
申込みページ	https://members05.live.itmedia.co.jp/library/ODlyNjk%253D?group=2503_DevRev2025W
開催報告書	https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-04-08/2d24syv



名称	@IT Cloud Native Week 2025 冬 「崖っぷちから這い上がる」クラウドネイティブの生かし方
開催日時	2025年3月12日（水）～3月13日（木） ※3月23日（日）までアーカイブ配信
対象	経営者、経営企画の方、社内情シスの運用・方針策定をする立場の方、 情シス部門の企画担当者、運用管理者、開発部門、Slerなど
主催	@IT
全申込者数	544人
視聴者数	417人
協賛 (※50音順)	<ul style="list-style-type: none"> SB C&S株式会社 Cloudflare Japan 株式会社 Confluent Japan 合同会社 双日テックイノベーション株式会社 Datadog Japan 合同会社 HashiCorp Japan 株式会社 パロアルトネットワークス株式会社 株式会社日立製作所
申込みページ	https://members06.live.itmedia.co.jp/library/ODIxMTc%253D?group=2503_CNW2025w
開催報告書	https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-03-30/2d23vyb

基調講演

基調講演1-1
クラウドネイティブで実現する、共通DBの課題解決～桃園の誓いアーキテクチャ～

株式会社マネーフォワード
マネーフォワードビジネスカンパニー BizOps本部
内西 功一 氏

基調講演1-2
今こそ取り組むクラウドネイティブ～コンテナだけではない、企業のデジタル競争力を高める実践アプローチ

一般社団法人クラウドネイティブイノベーターズ協会
代表理事
草間 一人 氏

※講演内容は配信当時の情報となります。（配信日：2024年12月4日）

基調講演1-3
バンダイナムコスタジオでのクラウドネイティブゲーム開発環境の構築取り組み事例紹介

株式会社バンダイナムコスタジオ
技術スタジオ 第3グループ オンラインテクノロジー部
サーバーソリューションユニット DXセクション テクニカルディレクター
八重樫 剛史 氏

※講演内容は配信当時の情報となります。（配信日：2024年12月4日）

基調講演2-1
Scaling Security in the Cloud: メルカリが考えるクラウドセキュリティ

株式会社メルカリ
VP of Security & Privacy
Jason Fernandes 氏

基調講演2-2
DevSecOpsとAI活用

アジャイルコーチ
kyon_mm 氏

全体概要

@IT Architect Liveは、自社のビジネスを支える**システム開発を担当するユーザー企業の担当者**、および顧客のビジネス課題を技術で解決する**開発者・ITアーキテクト向けのオンラインイベント**です。生成AIやクラウドネイティブなどの**先進技術を活用し、ビジネスを発展させるためのソフトウェア開発**をテーマに、**イノベーション志向のコンテンツ**を提供します。

開発現場では、**人材不足や予算の制約、技術のキャッチアップの難しさ**といった課題が続いています。一方で、生成AIの登場により、コード生成やナレッジ活用といった**AI駆動開発**が現実となりつつあり、現場とのギャップを感じる声も聞かれます。**AI活用には大きな可能性がある一方で、企業ではさまざまな課題も避けて通れません。**

本企画では、企業がこれらの壁を乗り越え、**開発を次のステージへと進めるための製品・ソリューション**をご紹介します。

開催テーマ

セクション**1**

AIによる開発生産性向上

セクション**2**

DevSecOpsとセキュリティ

セクション**3**

開催中止 品質とAI活用

セクション**4**

開催中止 AI活用を支えるクラウド＆データ基盤

| セクション1 | AIによる開発生産性向上

AIによる開発支援は従来のコード補完から**自然言語によるコード生成**へと進化し、**ローコード領域**もカバーしつつあります。
 AIの適用範囲はこれにとどまらず、**自動化、ナレッジ管理、メトリクス分析**など多岐にわたります。
 AIは内製化を加速する切り札となるのでしょうか。
 本セクションでは、**AIによる開発生産性向上の指針や事例**とともに、**具体的な手法やツール導入の勘所**を紹介します。

| キーワード

#開発生産性向上 #AI駆動開発 #コード生成 #テスト生成 #ローコード #DevOps
 #アジャイル #コラボレーション #プロジェクト管理 #内製化 #内製化支援 #CI/CD

| 視聴者の抱える課題

- AIなどの最新技術をキャッチアップしたくても余裕がない
- エンジニアの人材不足
- 作りたいシステムがあっても、リソース不足で後手後手に回る
- 外注から内製に変えたいが、体制を作れない
- ローコードを活用したいが、LoB人材の教育方法が分からない
- 攻めどころか守りさえも不十分

| 基調講演案

株式会社MonotaRO
 執行役CTO/VPoE
普川 泰如 氏

株式会社サイバーエージェント
 Developer Productivity室 室長
小塚 健太 氏

| セクション2 | DevSecOpsとセキュリティ

DevSecOpsは、顧客接点のシステムの安全と品質を守る要です。
 障害による機会損失や高度化する脅威からビジネスを守るためには、
シフトレフト、**セキュリティ・バイ・デザイン**などDevSecOpsのプラクティスの実践は欠かせません。
 加えて、生成AIの浸透は、開発生産性の向上にとって福音となる一方で、セキュリティ観点では、
脆弱性のあるコード生成や**ライセンス感染のリスク**など、様々な問題をはらんでいます。
 本セクションでは、現在の脅威に立ち向かいつつ、未来のリスクにも備えるための、**DevSecOps実践のポイント**を指南します。

| キーワード

#クラウドネイティブセキュリティ #CNAPP #CSPM #CWPP #CIEM #KSPM #コンテナセキュリティ #APIセキュリティ #DevOps
 #アイデンティティ管理 #シフトレフト #IDaaS #静的解析 #脆弱性管理 #SBOM #CI/CD #Observability #AI倫理とセキュリティ

| 視聴者の抱える課題

- ビジネスを継続し、事業に貢献するために、クラウド環境で何をどこまで守ればいいのか分からない
- クラウドネイティブな環境における、セキュリティのポイントが分からない

| 基調講演案

株式会社日本経済新聞社
 CDIO室 セキュリティエンジニア
藤田 尚宏 氏

株式会社メルカリ
 執行役員CISO
市原 尚久 氏

| セクション3 | ソフトウェア品質とAI活用

生成AIはソフトウェア開発の全工程で活用が進んでいますが、**品質保証に必要な厳密性と生成AIの不確定性は、一見すると矛盾する性質のようにも思えます。**

ソフトウェア品質が競争力の鍵となる現在、生成AIの可能性を品質向上にどう活かすべきか、品質管理やテスト自動化といった具体的なツールを交えて、本セクションでポイントを解説します。

| キーワード

#AIによる品質向上 #テスト自動化 #テスト管理 #品質保証 #静的解析 #コードレビュー #プロジェクト管理 #保守 #バグ管理 #ソースコード管理 #コラボレーション開発 #QA (Quality Assurance) #DevOps #Observability

開催中止

| 視聴者の抱える課題

- AIなど最新の技術を使ってソフトウェア品質を向上させたい
- 今の品質保証体制の改善の仕方が分からない
- 開発、運用、セキュリティを連携させる方法が分からない
- アプリケーションの脆弱性を管理し、対応したい
- テスト自動化、テスト仮想化の実践方法が分からない
- テストコードを書く工数をどう減らせばいいか分からない

| 基調講演案

株式会社カカコム
食ベログシステム本部 品質管理室 室長兼テックリード
普川 泰如 氏

株式会社マクニカ
IT本部 IT統括部 ITシステムマネジメント部
コーポレートシステム課 主席
藤本 慎也 氏

| セクション4 | AI活用を支えるクラウド&データ基盤

AIアプリケーションの競争力の源泉となるのは、**データ**だと言われています。
ビジネス要求のスピードに対応しながら**アプリケーション**と**データ**を効率的に運用するには、
クラウドネイティブなどの**モダンプラットフォーム技術**が欠かせません。
本セクションでは、**AI時代に適したIT基盤**を考える上でのポイントを解説します。

| キーワード

#クラウドネイティブ #Kubernetes **開催中止** #IaC #APIファースト #CI/CD
#クラウドネイティブデータベース #Observability #LLMOps #MLOps #DevOps #DataOps

| 視聴者の抱える課題

- AI活用を前提としたクラウド環境、データ活用基盤をどのように構築すればよいのか分からない
- 散在している膨大なデータの利活用、管理に向けたノウハウの不足
- リアルタイムにデータ分析をしてビジネスに活用したいが、できていない
- データ利活用のためのデータ基盤をどう整備・改善していけばよいか

| 基調講演案

イオン株式会社
CTO
イオンスマートテクノロジー株式会社
取締役 CTO
山崎 賢 氏

GO株式会社
開発本部 AI技術開発部 データプラットフォームグループ
鈴木 隆史 氏

12月4日(木)

12月5日(金)

時間	枠時間	セッション1 AIによる開発生産性向上	時間	枠時間	セッション2 DevSecOpsとセキュリティ
13:00-13:40	40分	基調講演1-1 (AIによる開発生産性向上)	13:00-13:40	40分	基調講演2-1 (DevSecOpsとセキュリティ)
13:50-14:20	30分	スポンサーセッション1-1 ご協賛企業決定	13:50-14:20	30分	スポンサーセッション2-1 ご協賛企業決定
14:30-15:00	30分	スポンサーセッション1-2 DAY1-1-S102	14:30-15:00	30分	スポンサーセッション2-2 DAY2-2-S202
15:10-15:50	40分	基調講演1-2 (AIによる開発生産性向上)	15:10-15:50	40分	基調講演2-2 (DevSecOpsとセキュリティ)
16:00-16:30	30分	スポンサーセッション1-3 DAY1-1-S103	16:00-16:30	30分	スポンサーセッション2-3 DAY2-2-S203
16:40-17:10	30分	スポンサーセッション1-4 DAY1-1-S104	16:40-17:10	30分	スポンサーセッション2-4 DAY2-2-S204

※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

デジタルイベント協賛予約システム



ご協賛企業様、代理店様から直接デジタルイベントへのご協賛をお申込みをいただけるようになりました！
申込可能な協賛枠や企業様のご協賛状況をリアルタイムで視覚的に確認可能です
 ご予約はこちらから▶ https://techlive-itmedia.resv.jp/direct_calendar.php?direct_id=65

ご協賛枠の予約受付完了までの流れ ※従来通り弊社営業担当経由でのご予約も可能です



カレンダーの見方



① ご利用ガイド

- 協賛を決定いただいたお客様
 - ・ 順次入稿シートをご案内いたしますので、今しばらくお待ちください。
- 仮押さえ有効期限について
 - ・ ステータスが仮押さえの枠の期限は、お申込みから14日間です。期限を超過すると枠は自動でキャンセルされます。
 - ・ ひとつのイベントにつき、予約者が同時に予約できるのは最大で3枠までとさせていただきます。
 - ・ 4枠目の予約を希望される場合は、すでに予約されている3枠のうち1枠をキャンセルしていただく必要があります。
 - ・ 他の企業様がお申込み、仮押さえをされる可能性があります。必要数だけの仮押さえをお願いいたします。
 - ・ 仮押さえから本予約へのステータス変更はシステム上でおこなうか、お問い合わせフォームよりご連絡ください。
- キャンセルに関して
 - ・ キャンセルはお問い合わせフォームまでご連絡ください。担当者をご対応いたします。
 - ・ イベント企画書に掲載のキャンセル規定に基づき、キャンセル料が発生する場合がございます。
- 予約の変更に関して
 - ・ 予約完了後送られてくる予約受付メールに、URL、予約番号、確認コードの記載がございます。そちらからシステム上でおこなうか、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

ご協賛メニュー

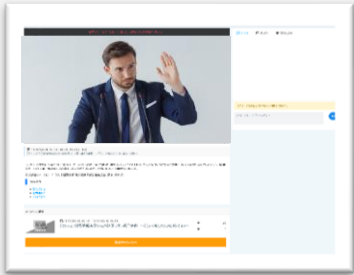
	セッションプラン		リストプラン	
	プラチナ	ゴールド	全リスト	セクションリスト
スポンサーセッション	●	●	—	—
セッションアンケート	●	●	—	—
資料配布	●	●	—	—
視聴者リード（全件納品） ※アーカイブ開始後2日目までの視聴者リードが納品対象となります。	●	●	—	—
協賛セクション申込者リスト	●	● （上限あり）	●	● （上限あり）
全申込者リスト（全件納品）	●	—	●	—
スポンサーロゴ掲載	●	●	●	●
事前アンケート結果	●	●	●	●
開催報告書	●	●	●	●
リスト件数（すべてのリスト合計数）	800件想定	350件想定	800件想定	350件想定
備考	*リスト件数は想定数です	*450件上限 *視聴者リードは上限を 超えても全件納品	*リスト件数は想定数です	*450件上限
	*申込締切日までの協賛状況によって、プランは変更になる可能性があります			
料金（すべて税別・グロス価格）	¥3,800,000-	¥2,800,000-	¥2,700,000-	¥2,000,000-

※別途料金にてオプションもお申込みいただけます。

ご協賛メニュー詳細

| スポンサーセッション

- 製品やサービスをPRできる。スポンサーセッション枠をご利用可能。



| セッションアンケート

- 貴社のセッション枠の時間内に独自のアンケートを実施。
- 単一回答・複数回答・自由回答の3種類を組み合わせて自由に設定可能。
- アンケートボタンを押すと、ポップアップで表示。

※セッションアンケートの実施はLive配信時のみとなります

| 資料配布

- 貴社セッション内で視聴者に向けて資料の配布が可能。
- 配布点数：ご講演資料+3点まで
- PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能。

| 視聴者リード

- 貴社セッション視聴者のリード情報をご提供。
- ご提供情報：会社名・部署名・役職・電話番号・メールアドレスなどの名刺情報

※DL可能
※アーカイブ開始後2日目までの視聴者リードが納品対象となります

| セクション申込者リスト

- 協賛セクション申込者のリード情報をご提供。
 - ご提供情報：名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・年商規模・関与など
- ※事前申込時に該当セクションを視聴希望としてチェックしている人(任意/申込時1カ所以上の視聴希望必須)のリストが納品対象です。

| 全申込者リスト

- イベントに申込みをされた全申込者のリード情報をご提供。
- ご提供情報：名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・年商規模・製品選定における関与など

| スポンサーロゴ掲載

- イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲載、貴社サイトへのリンクを設定可能。
- 講演間に表示する幕間スライドに貴社のロゴを掲載。

※イベントによって幕間スライドでのロゴ掲載を行わない場合がございます。

| 事前アンケート結果

- 事前登録時に製品選定における立場など（BANT情報）等も合わせてご提供。

※アイティメディア側で設定のため個別設定不可。

| 開催報告書

- アイティメディアで一般来場者へアンケートを実施 集計結果を開催報告書として会期終了後にご提供。
- 個人情報は含まない集計データでの提供。

※画像はイメージです。

貴社のスポンサーセッション動画は、TechLIVE by ITmediaにも掲載いたします

① デジタルイベント開催

スポンサーセッション動画



イベント終了後
TechLIVEへ転載

② TechLIVEへの掲載

TechLIVE by ITmedia



③ ITmediaの各媒体
から誘導を実施



④ 視聴者リードの
ご提供も可能



2025年10月
オープン

「今を動かすテクノロジー」を 深掘りする動画プラットフォーム



専門編集者による番組コンテンツ企画



テクノロジーの現場を映像で分かりやすく深掘り



視聴者リードの獲得が可能

詳細はこちら

- **TechLIVEへの講演動画掲載について**
 - 掲載をご希望されない場合は、イベント協賛時に、事務局担当者までご連絡ください。
 - ご連絡がない場合は、下記の内容に従い掲載いたします
- **掲載対象動画**
 - 2025年10月以降に当社主催デジタルイベントでご講演いただいたスポンサーセッション動画（産業DXパートナーシップ系は対象外になります）
- **掲載開始時期**
 - 2025年10月以降にご協賛いただくイベントが終了し次第順次
- **掲載費用**
 - 無料（掲載にあたり、追加費用は発生いたしません）
- **動画の取り扱い**
 - 原則、イベント開催時に配信した動画をそのまま掲載いたします（動画本編の編集等はいたしません）
 - 一部の動画では視聴者に分かりやすい動画になるよう、冒頭にダイジェストムービーや、編集部による解説動画等を挿入する場合がございます。（対応の有無および内容は当社に一任いただきます）
 - 掲載した動画は、基本的に期間制限なくTechLIVE上に掲載されますが、取り下げをご希望の場合は申請いただくことで掲載を終了することが可能です。
- **視聴者のリード情報について**
 - 視聴者データ（リード情報）のご提供はございません。
 - リード情報の納品をご希望の場合は、別途商品をご用意しておりますので営業担当にお問い合わせください。

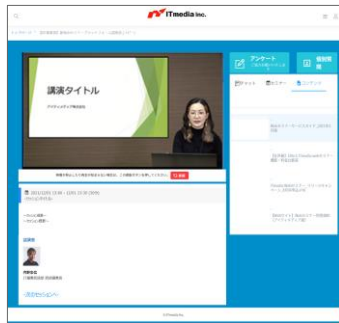
セットプランのご紹介

イベントで配信したセッション動画を二次展開し、さらなるリード獲得にご活用いただけます

本イベント セッション登壇付きプラン

スポンサーセッションを通じて、当該テーマで情報収集中の読者に対し貴社メッセージを訴求いただけます。

▼スポンサーセッション配信画面イメージ



リード提供数 **800件想定**

- ※ プラチナプランの場合
- ※ イベント、プランによって変動します

オプションメニュー セッション動画活用リード獲得

本イベントご講演動画1本+貴社ご所有の関連コンテンツ1~2本を弊社メディア内に掲載し、閲覧者のリードを提供します。
(マスク化して設置し、閲覧時に個人情報提供の許諾を取得)

▼コンテンツ紹介画面



▼コンテンツ閲覧画面
(動画の場合)



リード提供数 **+100件**

※ セッション動画活用コンテンツの掲載面は、内容に合わせて「TechTarget[®]ジャパン」「TechFactory」のいずれか、または両方とさせていただきます。

※ コンテンツへの誘導方法はアイティメディアにご一任ください
(メールマガジン/電話/メディア内誘導を適宜実施します)

※ 詳細は [こちら](#) をご覧ください。

料金 (税別・グロス価格)

¥4,800,000-

※ ユーザー企業限定

※画像はイメージです。

| 貴社セッションmp4動画納品

閉幕3か月後まで

- セッションありのプランにお申込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式。
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000**

| セッション収録サポート

開催日1.5カ月前まで

- 30分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供。
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の1.5カ月前までのお申込み必須。
- 講演者が2名以上の場合など、収録内容に応じて追加費用が発生する場合がございます。

料金 **¥200,000～**

| リード情報×主催アンケート回答情報付与

開催日1週間前まで

- 視聴者の課題感などを収集している主催者アンケートの回答情報を、納品リードに付与して納品。
- リードフォロー時の参考情報としてお役立てください。
- 開催日1週間前までのお申込み必須。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbw2>

料金 **¥200,000～**

| 納品リストへのABMデータ追加

開催日1週間前まで

- アイティメディアでのコンテンツ閲覧状況を分析し、各企業の導入検討状況を推測できるABMデータを納品リストに追加するサービス。
- ABMデータによって企業の意図を可視化し、効率的な案件発掘が可能。
- データ集計作業のため、通常より1営業日遅れての納品。

詳細：go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1jn

料金 **¥200,000**

| リードカスタム納品

開催3営業日前まで

- イベントで入手したリードをMAツールへ直接納品や、貴社フォーマットにあわせて加工して納品。
- 弊社パートナーのデータ連携ツールを介してリード情報を納品。
- お申込みまでに納品条件の確定が必要です。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

料金はリード件数によって変動

| ブランディング施策

開催2か月前まで

- イベント告知サイトに貴社情報を追加で掲載し、ブランディング施策として活用可能。
- 通常より大きく会社ロゴの表示。
- ショート動画の埋め込み。
- フローティングバナー情報掲載。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

料金 **¥500,000**

| アフターフォローセミナー

開催日1.5カ月前まで

- 貴社の訴求と読者の関心に合わせた企画を編集部が設計し、アイティメディアが集客・配信までサポート。
- パネルディスカッションや30分のセッション動画の収録も可能。
- プロ機材と収録会場を提供。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>

料金 **¥2,500,000**

| テレマーケティング

開催日3週間前まで

- イベント終了後、獲得したリードに対して所定の件数分コールを実施。
- 効果的に実施することで高い反響率と顧客獲得効果が望める。
- 最低実施件数：50件～
- 期間：3～4週間（250件の場合）
- 1000件以上は不可

料金 **¥75,000～**

※オプションのみでのお申込みはできません。ご協賛価格とは別に上記料金を頂戴します（すべて税別・グロス価格）

セッション動画活用リード獲得

閉幕2か月後まで

- 講演動画や資料をTechTargetジャパン／キーマンズネットに転載するサービス。
- セミナー後も継続的な【属性＆件数を保証したリード獲得】が可能。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-14/2czswgv>

料金 **¥300,000~**

レポート記事配信（ターゲットへプッシュ型で配信）

記事配信希望日の6週間前まで

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作し、閲覧者属性を指定してHTMLメールで配信。（アーカイブ掲載あり）
- 業種、職種、企業名など狙いたいターゲット属性をターゲティングして貴社セッション内容をお届け
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvv>

タイアッププッシュ ターゲティング & ABM 15,000通~

料金 **¥1,000,000~**

レポート記事掲載（広範に読者を記事へ誘導）

掲載希望日の1.5か月前まで

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作
- DX関心層が多く閲覧しているメディア横断でタイアップ記事へ誘導
- 記事掲載メディア：イベント主催メディア
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqstv>

DXメディア横断 PV保証タイアップ 4,000PV保証

料金 **¥1,200,000**

セッションパンフレット作成（IT・ビジネス関連）

開催日1週間前まで

- 貴社のセッションをパンフレットとして制作し、印刷用データ（PDF/x）を納品
- 取材内容はタイアップ記事広告としてメディアにも掲載（2,000PV保証）
- 読者への認知獲得も狙える
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvv>

DXメディア横断 PV保証タイアップ 2,000PV保証
パンフレット制作（PDF/x納品）

料金 **¥1,200,000**

CM動画放映スポンサープラン

開催日3週間前まで

- 各基調講演（主催者セッション）開始前の待機時間に、視聴者に対して貴社支給動画を放映。
- イベント視聴者に対して、映像と音声を活用して自社サービスを繰り返し訴求することで製品やサービスの認知度向上につながります。
詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-08-05/2d122lq>

料金 **¥300,000**

パネルディスカッションパッケージ コンテンツ二次利用

開催日3週間前まで

- 弊社にお任せいただいたパネルディスカッションパッケージで作成したコンテンツを主催イベントに再利用。
- 通常30分間のスポンサーセッション枠を2枠ご提供。過去制作した60分間のコンテンツをそのままお届け。
- 新規でコンテンツ制作を行わずに更なるリード獲得が可能。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-17/2czbqt5>

※価格・割引率をご協賛イベントによって変動いたします。

料金 **¥3,000,000**

カスタムパーミッション掲載

開催3営業日前まで

- 貴社の規定に合わせたパーミッションを掲載
- 下記の3パターンでカスタムが可能
 1. チェックボックス設置（1個/社）
 2. パーミッションテキスト追加
 3. プライバシーポリシーURL併記（最大5本）
- 納品リストのカスタムは別途オプション
- 主催者が提示するパーミッション文言は変更不可

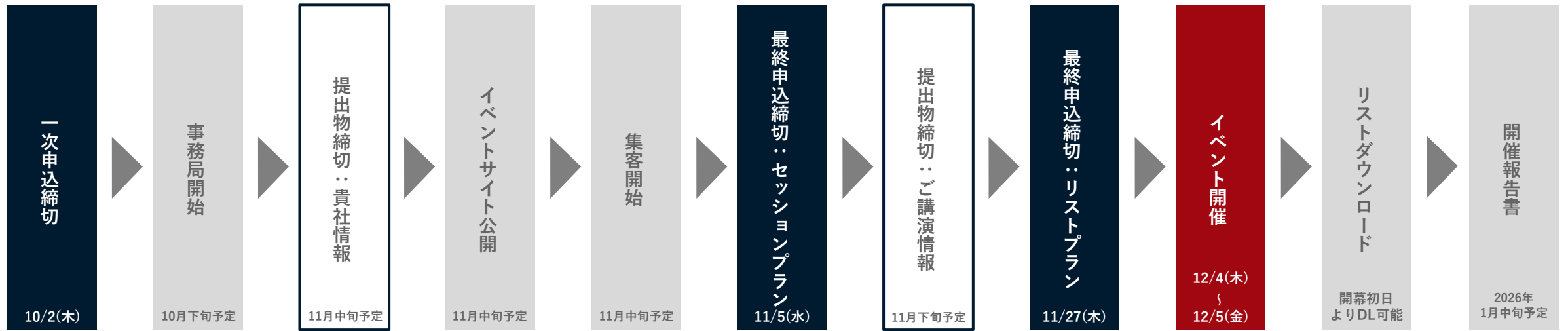
詳細：go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-06-02/2d2cgrk

料金 **¥50,000~**

※オプションのみでのお申込みはできません。ご協賛価格とは別に上記料金を頂戴します（すべて税別・グロス価格）

お申し込みからの流れ

下記スケジュールは目安になります。状況によって変更になる可能性があり、開催決定後に確定したスケジュールをイベント事務局よりご連絡いたします。



ご出展意思を担当営業にお伝えください。後日弊社より発注書を送付いたしますのでDocuSignにご署名のうえご返送ください。

- セッションプラン**
- 貴社ロゴデータ
 - 講演情報
 - 企業情報
 - セッション登録用紙
- リストプラン**
- 貴社ロゴデータ
 - 企業情報
- 上記を事務局へ提出いただけます。詳細は事務局よりご案内させていただきます。

視聴希望者の事前登録を開始いたします。

登録・視聴促進の為、ギフトカードなどのプレゼント施策を行う場合がございます。

- セッションプラン**
- <録画配信の場合>
- 講演録画データ(mp4形式)
 - 講演用データ(ppt/pptx形式)
 - アンケート
 - 配布資料
 - 講演者写真
- <ライブ配信の場合>
- 講演用データ(ppt/pptx形式)
 - Poll (投票)
 - アンケート
 - 配布資料
 - 講演者写真

終了後1~2週間程度、セッションのアーカイブ配信を行います。

※アーカイブ開始後2日目までの視聴者リードが納品対象となります。

開催報告書は集計後、別途営業担当よりご提出いたします。

※一次申込締切までに十分な協賛企業が集まらなかった場合、予告なくイベントの中止やテーマの変更、規模の縮小をする可能性がございます。あらかじめご了承ください。

ご留意事項

キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書取り交わし後のキャンセル
登録用紙提出後のキャンセル
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル : 契約金額の50%
開催日40日以内のキャンセル : 契約金額の100%

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

消費税につきまして

企画書のプランは税別表記のため、消費税は別途申し受けます。

配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）してしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが中断（停止）した場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

リスク3：電源障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）する可能性があります。バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

リスク4：機材障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）する場合がございます。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク5：視聴側における障害

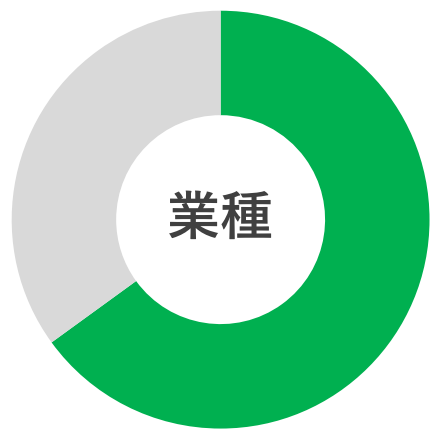
- ・総視聴者数に対し、視聴不良報告数が10%未満の場合
視聴者側の環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。
- ・総視聴者数に対し、視聴不良報告が10件単位で確認された場合
配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

@IT

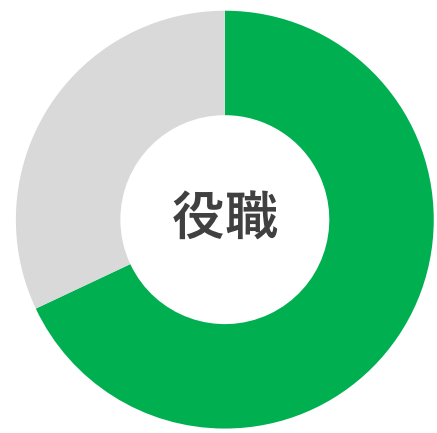
“ビジネスを変革する” ITエキスパートのための技術専門メディア

- 媒体資料
- URL
- PV
- メルマガ購読数

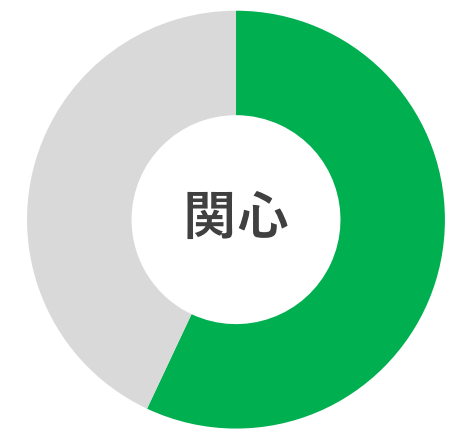
<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2020-10-14/tlw6gn>
<https://atmarkit.itmedia.co.jp/>
約700万 PV/月 約356万 UB/月 ※2024年8月実績
約57万件



ユーザー企業 約**65%**



係長クラス以上 約**60%**



クラウドネイティブに 取り組み済み・関心あり 約**57%**

※@IT読者意識調査 2024年4月「クラウドネイティブ編」



デジタルイベントに関するお問い合わせ

アイティメディア株式会社 営業本部

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル（受付：13F）

<https://promotion.itmedia.co.jp/contact>

デジタルイベントの最新情報は[こちら](#)